

第2回超電導応用研究会シンポジウム
ー再生可能エネルギーと水素利用についてー

超電導応用研究会では、来る将来の水素社会や水素と超電導電力貯蔵システムとのジョイント技術の講演会を開催して参りました。一方、再生可能エネルギー導入が増加する中で、電力貯蔵技術に注目が集まっており、電力貯蔵と水素を組み合わせたシステム開発が進められています。この様な電力・エネルギーの環境変化を鑑みて、再生可能エネルギーや水素をテーマにしたシンポジウムを企画しました。本シンポジウムでは、再生可能エネルギー大量導入による電力の課題を踏まえた上で、再生可能エネルギー出力変動補償用先進超電導電力変換システム(ASPCS)の開発や再生可能エネルギーと水素を組み合わせた非常用電源システム開発のご講演を頂きます。さらに、NEDOプロジェクトで実施している「電力・水素複合エネルギー貯蔵システム」の実証システムを見学して頂きます。皆様のご参加をお願い申し上げます。

日程：平成30年10月5日(金)

会場：講演会：仙台市 茂庭荘(連絡先：022-245-5141)

見学会：仙台市 茂庭浄水場(住所：仙台市太白区茂庭字上ノ原山128)

集合場所：仙台駅東口

参加費：2000円(資料代)

プログラム：

13:00	JR「仙台駅」東口 集合	※遅刻厳禁
13:30～13:40	開会挨拶	
13:40～14:10	馬場 旬平(東大)	再生可能エネルギーの大量導入社会の課題(仮)
14:10～14:40	駒込 敏弘(前川製作所)	再生可能エネルギー出力変動補償 ASPCS の開発
14:50～15:20	津田 理(東北大)	非常用電源機能を有する電力・水素複合エネルギー貯蔵システムの実証試験
	----- 休憩・移動 -----	
15:50～16:20	電力・水素複合エネルギー貯蔵システム	見学
16:20～16:30	閉会挨拶	
17:00	JR「仙台駅」東口 解散	※解散時間は目安

主催：低温工学・超電導学会 超電導応用研究会

オーガナイザー：仲村 直子、駒込 敏弘(前川製作所)、平野 直樹(中部電力)

申込先・問合せ先：駒込(前川製作所) E-mail: toshihiro-komagome@mayekawa.co.jp

電話番号:0297-48-1364

※ 事前申込みは必須です。氏名、所属、電話、E-mailを9月27日(木)までに連絡下さい。

※ 会場収容数に制約があるため先着順にさせて頂く場合がございます。

※ 仙台駅東口で集合・解散します。講演会場、見学会場まではバスで移動します。集合場所の連絡はお申し込み後に別途ご案内致します。